



生涯学習だより

人権作品集「おもいやり」完成

市内小・中学校の児童生徒の代表による人権作文・標語・ポスターの作品を取めた作品集「おもいやり」の平成30年度版がこのほど完成しました。

各学校での人権教育の成果により、子どもの持つ鋭い感性と人権感覚豊かな優れた代表作品集となっています。作品集をご覧いただき、子どもたちのみずみずしい感覚をもとに、改めて人権について考えていただければ幸いです。「おもいやり」は市内小中学生をお持ちの全家庭に配付するとともに、公民館・生涯学習センターなどで、無料にて配布しております。



安中市少年少女合唱団 第24回定期演奏会

安中市少年少女合唱団では、定期演奏会を次のとおり開催します。一所懸命に練習してきた成果を発表します。多くの人のご来場をお待ちしています。

1 プログラム

第1部 ジュニア・シニア

「天使の羽のマーチ」「いつも何度でも」他

第2部 ジュニア

「誰かが口笛吹いた」「オリバーのマーチ」他

第3部 シニア

「ふるさと空は」「COSMOS」他

第4部 特別出演

安中市立第一中学校

吹奏楽部 吹奏楽アン

サンプル

第5部 シニア

児童(女声)とピアノの

ための「セミ」「アリ」

児童合唱のための「雨

ニモマケズ」

日時▼3月16日(土)

午後1時30分開場

午後2時開演

会場▼安中市文化セン

ター ホール

入場料▼200円(安

中市文化センター・松

井田文化会館で入場整

理券を扱っています)

※未就学児は、無料で

す。当日券もありま

す。



平成29年度人権作品集 「おもいやり」から 「思ひやりの星」

安中市立松井田北中学校

一年 鈴木 里央

人権とは、そもそも何なのか？私をよく知りませんでした。「人権」の意味は、生まれながらに人間がもっている、生命・自由・名誉などに関する権利です。そこで考えてみました。

まず、身近なことから考えていくと「いじめ」問題です。「いじめ」は、ちよつとしたことから生まれてくるのではないかと思います。例えば、周りの人たちから信頼されている人がいたとします。その人のことを「嫌だな。」と想っている人が、「あの子嫌い。」と周りの人に言う、その一言で変わってしまうのかなと思います。あとは、少し静かな子に声をかけても、その子がしゃべらない、返事をしないことに対して「嫌だな。」と想ってしまうことがいけないのかなと思います。私も、「うらやましいな、あの子。」と

思う時もあります。しかし、そういう時は、その人の「いいところさがし」をしたり、「嫌だな。」嫌い。」と思う前に、少し冷静に考えたりします。今、学校で問題になっている、「いじめ」。

ひどい時は、いじめられる人が「自殺」してしまう場合もあります。ニュースでもよく聞く、「いじめ」。では、いじめられている人、悪口を言われている人はどうすればいいのかを考えました。

まず、私が考えたのは、相談相手をつくることです。親でも、先生でも、友達でも、誰でもいいと思います。そこで吐き出せば、少しでも心が落ちつくと思います。あとは、自分なりにリラクゼーション方法、気分転換方法を考えることだと思います。私が小学校に通っている時、嫌なことがあり、それを家族に対して、イライラしてしまったり、怒ってしまったりすることがありました。

後から考えると、「ああ、どうして家族に怒ってしまったのだろう。」と思いました。でも、それぐらいの思いだと思います。しかし、それを、自分一人で悩まないのが一番だと思います。「家の人、先生、友達に迷惑をかけたくない。」と思う人もいるかもしれませんが、家族も誰だって私たちのことを大切に思ってくれていると思います。

先生も、友達も、そうだと思います。悩まないで相談しましょう。

(つづく)